

地域医療連携だより

Vol.266

R7.8

長浜赤十字病院 地域医療連携課

〒526-8585 滋賀県長浜市宮前町14-7

TEL 0749-68-3314

FAX 0749-68-3315



地域医療支援病院・救命救急センター

地域周産期母子医療センター

災害拠点病院・災害拠点精神科病院

滋賀県地域がん診療連携支援病院

滋賀県基幹原子力災害拠点病院



盛夏の候、貴院におかれましてはますますご清栄のことと存じます。
平素より当院の地域連携に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。



週1回持効型インスリン製剤(アウिकリ注フレックスタッチ®)について

長らく登場が待たれていた週1回投与の持効型インスリン製剤が2025年春に上市され、当院でもいち早く採用した結果、次第に処方件数が増加してきています。1回注射すれば血糖低下作用が1週間以上持続するために、これまで持効型インスリンを毎日注射していた患者さんへの注射負担が大きく軽減されます。特に患者さん自身が注射をすることが難しい場合、注射を担当しているご家族や訪問看護師さんの負担軽減が期待できます。

実際当院で従来の1日1回タイプの持効型インスリン製剤からの切り替えた患者さんの集計では血糖コントロールは悪化せず、患者さんないし介護者の満足度も向上したという結果になりました。(詳細な解析をした上、今後学会で報告する予定です。)

- ・1日1回タイプの持効型インスリンからの切り替え
- ・内服では血糖コントロール不良の患者さんのインスリン導入
- ・GLP-1受容体作動薬、GIP/GLP-1受容体作動薬など既に他の週1回注射製剤を使用している血糖コントロール不良の方

などが週1回持効型インスリン製剤(アウिकリ注フレックスタッチ®)のよい適応になるかと考えております。

外来での切り替えや導入も含めて柔軟に対応させていただきます。新たに加わった糖尿病治療を御検討いただく際には是非当科に御紹介ください。

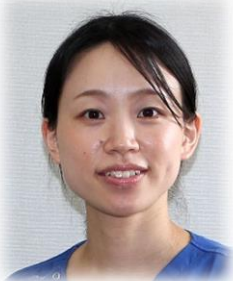
＜追記＞

- ・週1回持効型インスリン製剤(アウिकリ注フレックスタッチ®)は新薬ですので、2025年12月までは2週に1回の通院が必要です。12月まで当科で血糖管理を担当することも可能です。
- ・アウिकリ注フレックスタッチ®を導入した月の在宅自己注射管理料は当院で算定させていただきます。
- ・当院では今年も新しい糖尿病療養指導士(看護師)が誕生いたしました。引き続き滋賀県下最大人数の糖尿病療養指導士と力を合わせて糖尿病診療に従事してまいります。



糖尿病・
内分泌内科部長
児玉 憲一

◆◆ 新任医師よりご挨拶 ◆◆



小児科 大森 慎子(オオモリ マキコ)

2025年7月より赴任しました小児科医師6年目の大森慎子と申します。初期研修と後期研修1年目を長浜赤十字病院で行い、約2年ぶりに勤務させていただくこととなり嬉しく思います。当時お世話になった先生方やスタッフの方と再会し懐かしい気持ちもありますが、気持ち新たに色々なことを学びたいと思っております。至らないことも多々ありますが、少しでも地域に貢献できるよう努めて参ります。よろしくお願い申し上げます。



よろしく
お願いします

がんサポートグループ れんげそう



2025年8月30日（土）第7回がんサポートグループ「れんげそう」を開催致します。
がんサポートグループは、がん患者さんやそのご家族が様々な疑問や悩みなどを語り合い、安心して自分らしく過ごせることを支援する集まりです。当院へ通院されていない方もご参加いただけます。

今回は講演会と語り合いの2部構成です。第一部の講演会では当院の堀薬剤師が「化学療法の副作用について～意外と知られていない自己対策～」についてお話しいたします。第二部では参加者が自由に語り合える場を設けています。

一人で悩まず語り合いませんか？

みなさまのご参加をお待ちしています。



高島市消防本部とのドクターカー連携訓練を終えて

令和7年6月24日（火）に高島市消防本部（滋賀県高島市）で、当院ドクターカーチームと高島市消防本部救急隊とのドクターカー連携訓練を実施いたしました。

当院では令和4年4月より湖北地域においてドクターカー事業を開始しています。

その後、彦根地域・高島地域へも出動範囲を拡大、同地域に限定して救急車型ドクターカーで出動し、救急隊から傷病者を引き継ぎ適切な医療機関へ搬送するシステムをとっています。ドクターカーの目的は、重症傷病者に対して、早期医療介入、救急隊では不可能な高度医療の提供、治療方針決定の前倒しを行い、救命率の向上及び後遺症の軽減を図ることであり、滋賀県北東部・北西部になくてもならない救急システムだと考えております。

今回の訓練は、ドクターカー運行に関わる知識・技術の向上並びに傷病者搬送手順の確認に主眼を置き訓練を行いました。訓練では、実際にドクターカーが出動、救急隊と通信指令課、当院ドクターカーチームの情報共有の方法を確認し、更にはランデブーポイントでの引継ぎや医療処置について救急隊と共に実際に活動を行い、連携の強化を図りました。実際の現場では、情報の正確な伝達や、現場での指揮統制、通信指令課、救急現場、医療機関のスムーズな連携が重要となります。今後、本訓練で得られた成果や課題を踏まえ、関係機関との連携を更に強化し、市民の皆様に対して、より安全で質の高い救急サービスを提供していきたいと考えております。今回は、高島地域への出動範囲拡大に伴い連携訓練を行いました。湖北地域においても定期的に訓練を計画、実施し地域救急医療の発展に力を入れていきたいと考えております。今後とも、赤十字活動へのご協力をよろしくお願い致します。



救急科部救急救命課
救急救命士
谷村 仁志



第19回地域医療意見交換会開催のお知らせ

日頃は、地域医療連携に関しましてご協力いただきありがとうございます。

今年は下記の日程で意見交換会を予定しております。お忙しいとは思いますが、是非ご参加いただきますようお願いいたします。

○日時：11月15日（土） 午後4時～午後8時

○場所：北びわこホテルグラツィエ

○内容：第1部 講演会、第2部 意見交換会（親睦会）



※今月の日割り表に変更はありません。